2006 年 3 月号　（No. 263）

目　　次

《巻頭言》

情報化社会における日常からの解放感 …… 2

西岡 美由紀（万有製薬株式会社　医療制度情報室長）

《最近の話題》

アミノ酸の起源と医薬品などへの利用

その 5：アミノ酸含有サプリメント …… 5

《お知らせ》

『JAPIC 日本の医薬品 構造式集 2006』（検索 CD-ROM 付き）発刊／

新薬承認審査報告書集「日本の新薬」発刊のご案内 …… 9

《トピックス》

第 124 回薬事研究会を終えて …… 14

《図書館だより No. 189》 …… 15

《2 月の情報提供一覧》 …… 18

《巻頭言》

「情報化社会における日常からの解放感」

― 茶道・茶事の楽しみ ―

万有製薬株式会社　医療制度情報室長

西岡　美由紀 *(Nishioka Miyuki)*

(JAPIC 評議員)

情報技術のめざましい発展によって地球規模の情報化が進行したおかげで、私たちは大量の情報を入手し、その中から目的にあったものを検索し自在に活用することができる。例えばJAPICが開発した『iyakuSearch』は、国内の医薬品情報に関する豊富で最新のデータベースを有し、医薬文献・学会演題情報、添付文書情報、規制措置情報、臨床試験情報などを検索することができる。開始1年余を経て、安価で簡便な情報提供サービスとしてユーザー数を増やしている。このような便利な検索ツールの恩恵を受けることができる一方で、あまりに広範にわたる情報を制御・利用しきれなければ、膨大な情報があふれている社会の中で知らぬ間に大きく遅れをとっていくのではないかという不安がある。現代社会に生きる人は皆、効率化、スピード化による様々な便利さを享受できる一方で、常に不安を感じストレスにさらされていることになるが、これは必然とも言える。それ故、多くの人はストレスを解消あるいはコントロールしなければならず、その方法についても人々は情報を求め、これまた大量の情報があふれているのである。

効率化、スピード化が求められる日常であるからこそ、効率もスピードも気にせず、あえて時間をたっぷりかけてゆったりと過ごす「非日常的」空間に身を置く「贅沢」が、ストレス解消法になり得る。筆者の場合、それは「茶道」である。

茶道は、自然体のまま季節感を大切にし、「もてなし」と「しつらい」を基本にした生活文化と言うことができる。もともと、日本人の「日常」であったこの精神が、残念ながら現代では「非日常的贅沢」となってしまった。本稿では、この「非日常的贅沢」としての「茶道」について日頃思っていることを書いてみた。

「もてなし」とは亭主が客を招き心を込めてもてなすこと、「しつらい」とは庭や茶室を整え飾りつけることを言う。「茶事」は、この精神を基本にした二部構成のドラマである。亭主は、茶室の中に掛物や水指(みずさし)・茶碗・釜などを用意して演出の準備をするが、季節感を取り入れたり、客に対するもてなしの思いやメッセージを盛り込んだりして趣向を凝らすのである。たとえば今の季節の茶事なら雛祭にちなんで、床の間には雛人形の絵を掛け、菱形の棚（菱餅にちなんで）に水指を飾り、扇型の香合（昔の女児が遊具にしたという扇を模ったもの）にお香を入れて・・・、といった具合である。さらには、前席（茶

事の第一幕）で供する懐石料理にも桜鯛、蛤、菜の花など旬の食材を使ってかわいらしい器に盛り付ける。中立（幕間）では桃の花を生けて床の間を飾り変え、後席（第二幕）に再び客を招き入れてもてなす菓子とその器、茶碗は、やはり春の暖かさや明るさ、あるいは女児の節句にちなんだ愛らしさを題材にしたものを用いる。もちろん亭主が身につける着物や小物もしかり。客は、亭主が用意した趣向を感じ取りながら、茶室の空間にある「しつらい」を五感で楽しむのである。料理や菓子・茶を味わい、湯の沸く音を聞き、炉にたかれたお香を利き、飾り付けを観賞し、さまざまな道具を手にして。客は茶事の最後に、その日使われた道具の作者や銘を亭主に尋ねるが、そこで初めて、亭主が用意した演出全体のテーマや隠されたつながりに気づくなどということもある。それもまた楽しい主客の心のふれあいである。

さて筆者にとっての茶道は、せわしない日常から解き放たれ、ゆったりとした時空を楽しみストレスを解消できる非日常的贅沢であるが、初めからそうであったわけではない。日本の伝統工芸や書道、和服などに興味があって稽古を始めたのが 20 年ほど前のことであるが、当時は、いかに短時間に効率よく習うかということばかり考えていた。先生や先輩方のゆったりとした所作の奥深さが理解できず、帰りのバスの時刻を気にしてじれったくさえ感じていたものである。ストレス解消どころではなかった。

茶道が持つ「非日常的贅沢」の魅力を感じるようになったのは、3 年ほど経った頃である。稽古の一環として茶事の亭主役を務めることになった。茶事を行うということは、それまでのように、準備された稽古場に行って手順を習いそれらをただ覚えて帰る、というのとは大違いである。しかし、亭主役とは言っても一番の新米。背伸びせず、心を込めて先輩にあたる客人をもてなしたい、という思いを胸において準備を始めた。稽古場（先生のお宅)に何度も通って先生と相談しながら道具のひとつひとつを選んでいく過程で、「もてなし」「しつらい」の心を少しずつ学んでいったのである。--- 厳しい暑さの残る初秋のことであったので、ギアマン（ガラス）細工の水指とハイビスカスの絵の薄器、鮎籠の花入れに秋明菊 --- 夏と秋の季節感を織り交ぜ、「新米で最年少」の亭主ゆえ許される遊び心も少し入れた趣向で、主客ともに楽しい茶事のひとときをゆっくり過ごすことができた。このときの経験がきっかけで、落ち着きとゆとりを与えてくれる「非日常的贅沢」に楽しみを見出し、その後のストレス解消法となったわけである。

茶道というと、堅苦しく難しいものと感じる方もいると思うが、茶道の大成者 千利休の教え「利休七則」にはごく当たり前のことが書いてあり、これがすべてであるとされる。

一．茶は服のよきように点て
二．炭は湯の沸くように置き
三．冬は暖かに夏は涼しく
四．花は野の花のように生け
五．刻限は早めに
六．降らずとも雨の用意
七．相客に心せよ

千利休以降、現在の裏千家家元 坐忘斎宗室（1956～）まで 16 代、400 年以上の長きにわたり茶の湯の伝統は受け継がれているが、意外にも（？）古いしきたりをかたくなに守り続けているといった方式ではない。亭主と客の間に通う人間的なぬくもり、「和敬清寂」の精神を貫きつつ、それぞれの時代に即した活動、表現をしているところが興味深い。裏千家 15 代の鵬雲斎汎叟玄室（1923～）は、一碗を通じての世界平和を願って世界各国に茶道を広めるため活発な国際活動を続けており、茶道の用語は各国の言葉に翻訳され、現地の風土文化に合わせて楽しまれている。また、当代家元 坐忘斎宗室は、若い茶道人の育成に力を注いでおり、各地の青年部・学校茶道部等で現代感覚を持った若者が茶道を通じて日本文化に触れる機会が増えていることは喜ばしい。

時間に追われ、情報にあふれるストレス社会に生きる現代人は、せわしない時間の中で時には、日常から解き放たれ非日常空間でゆったりとした時間を過ごし、季節の移ろいをとらえることが必要なのではないだろうか。

《最近の話題》

アミノ酸の起源と医薬品などへの利用（その 5：アミノ酸含有サプリメント）

（その１）生命の起源物質としてのアミノ酸（2005 年 10 月号）
（その２）アミノ酸類の医薬品（2005 年 11 月号）
（その３）ペプチド類の医薬品（2005 年 12 月号）
（その４）アミノ酸関与バイオ医薬品（2006 年 1 月号）

（その５）アミノ酸含有サプリメント

近年、健康食品･サプリメントの市場が急速に伸び、2005 年では 1 兆円市場にもなってきたと言われている。その流れと並行して、アミノ酸ブームが起こってきた。ここで言う「サプリメント」とは健康食品の中に含まれる栄養補助食品の一つである。また、食事で足りない栄養素を補うという意味で栄養補助剤とも呼ばれる。サプリメントを成分から「ビタミン系」、「ミネラル系」、「ハーブ系」、「ボタニカル系（植物系）」および「アミノ酸系」に分類することができる。

本稿では「アミノ酸系」、すなわちアミノ酸含有サプリメントに絞って現状をまとめた。なお、栄養補助剤の典型的なものには「アミノ酸輸液」があるが、本稿ではこれを除外した。

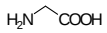
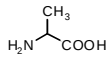
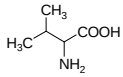
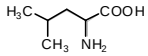
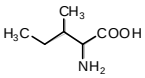
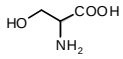
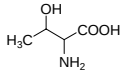
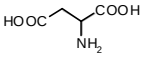
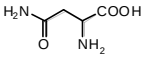
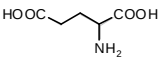
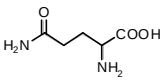
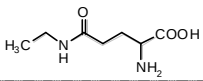
具体的にサプリメントとして使われているアミノ酸の種類とそれらの特性については表にまとめた。

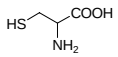
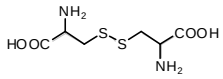
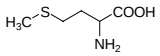
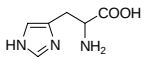
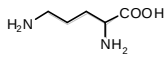
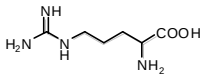
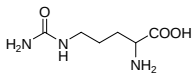
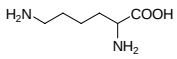
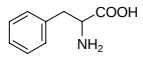
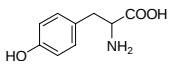
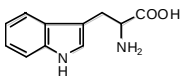
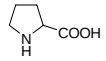
これらのアミノ酸の特性を活かし、中にはアミノ酸単品として商品化されているものもあるが、複数のアミノ酸の複合体とした商品が多い。商品化されたものについての各論は割愛するが、以下に主に使われているアミノ酸の組み合わせ例などについて紹介する。

アミノ酸サプリメントとして、欠かせない組み合わせに BCAA（branched chain amino acid）がある。BCAA は分岐鎖アミノ酸のことで、バリン、ロイシン、イソロイシンの 3 つのアミノ酸の総称でもある。体内の筋線維はタンパク質であるアクチンとミオシンから成り、これらの主成分が BCAA である。筋タンパク質の約 35%がこれらのアミノ酸からできている。多くのアミノ酸は肝臓で代謝されるが、BCAA は筋肉中で代謝される。激しい運動をすると、糖質を消費した後、筋肉中のタンパク質を分解し BCAA がエネルギー源として使われることになる。従って、BCAA を摂取することにより筋肉の損傷と筋力の低下を防ぎ、さらにそれらは運動エネルギー源となる、というのがサプリメントのうたい文句でもある。また、タンパク質は体内でエネルギー源として利用するためには、体内で分解される必要があるが、アミノ酸はその必要がないため、速効性が期待できる。さらに、BCAA は体タンパク質の分解を抑制し、体タンパク質の合成を促進するため、効率的に体脂肪の減少ができると言われている。これらがアミノ酸サプリメントの特徴であるとされている。

グルタミンやアルギニンは運動中のエネルギー源として使用されるだけでなく、疲労促進物質である乳酸の生成を抑制し、持久力を高め、傷んだ筋原線維を元の状態に戻し、さらに筋肉の損傷を防ぐとも言われている。従って、上記 BCAA にこれらのアミノ酸を追加したサプリメントも数多く市販されている。同様に、アルギニン、リジンは成長ホルモンの分泌を促すと言われて利用されている。また、アルギニンはインスリンやグルカゴンの分泌を促す作用があり、エネルギー産出にも役立つと言われる。オルニチンにはアルギニン、リジンと同じ作用以上に、体全体の健康維持力を高めるために働く作用があるということで、単独にも使用されている。

アミノ酸サプリメント一覧

アミノ酸単独	構造式	特性
グリシン（Gly）		甘味料や日持ち剤として利用。 肝臓でのエタノール代謝の促進。 関節炎などの抗炎症作用。
アラニン（Ala）		最もエネルギー源として利用されやすいアミノ酸の一つ。 TCA回路の流れを強め、脂肪燃焼効果。 糖が不足した場合肝臓で糖分に変換。 アルコール代謝を改善。
バリン（Val）		筋原線維を構成するタンパク質であるアクチンとミオシンの主成分。 分岐鎖アミノ酸（BCAA）である。
ロイシン（Leu）		筋原線維を構成するタンパク質であるアクチンとミオシンの主成分。分岐鎖アミノ酸（BCAA）。 筋タンパク質の分解抑制と合成促進の両方の働きがあり、タンパク質同化作用を発揮し、筋力アップに不可欠。
イソロイシン（Ile）		筋原線維を構成するタンパク質であるアクチンとミオシンの主成分。 分岐鎖アミノ酸（BCAA）である。
セリン（Ser）		脳の機能を助ける、老化を防ぐとされる。 肌の天然保湿因子（NMF）で最も多いアミノ酸。
スレオニン（Thr）		穀類の栄養強化に添加される。 肝機能を高める、成長を促す、脊髄痙縮に有効性がある。
アスパラギン酸（Asp）		アスパラガスに多く含まれる。 エネルギー源として最も利用され易いアミノ酸の一つ。 脳の神経伝達物質の一つ。 塩として摂取することでミネラル補給に。体液バランス（電解質平衡）を保持し、代謝を活発にする。
アスパラギン（Asn）		新陳代謝を高め、スタミナを増す。肝臓によい。
グルタミン酸（Glu）		ナトリウム塩はうまみ調味料として消費され、単独のアミノ酸としては最も需要が大きく、世界で年間150万トンを超える。筋肉疲労の回復を早める 大量摂取では精神障害や不眠様症状を引き起こす可能性。
グルタミン（Gln）		カラダに最も豊富に含まれる。 エネルギー源として利用され、乳酸の生成を抑制し、持久力を高める。 筋肉疲労の回復を早め、筋肉作りをサポート。 免疫増強効果。
テアニン（グルタミン酸エチルアミド）		緑茶に含まれるうまみ成分の一つ。 精神安定作用が期待され、リラックス効果がある、睡眠を促すといわれる。

システイン（Cys）		シミ、そばかすの原因となるメラニンを作る酵素チロシナーゼの働きを抑える。 抗酸化作用をもつ。
シスチン（$Cys)_2$		シスチンはシステインが２分子結合したもの。 シスチンは栄養強化目的で幼児用調整粉乳に利用。
メチオニン（Met）		タウリンの前駆物質であり、コレステロール分解を促進。 肝機能改善作用。 うつ症状を改善、毛髪の発育を促すとされる。 過剰摂取で動脈硬化や胃癌のリスクを高める可能性。
ヒスチジン（His）		インスリン分泌亢進し、脂肪細胞からの脂肪の分解を促進。 集中力・記憶力を高める作用。 抗酸化作用。
オルニチン（Orn）		シジミ貝に多く含まれる。成長ホルモンの分泌を通し筋肉増強作用。筋肉量を維持。 肝臓でアンモニア代謝を促進。免疫力を高める。
アルギニン（Arg）		高血圧によい。 成長ホルモンの分泌を通し筋肉増強作用。 血流改善作用。免疫能を高める。 エネルギー源として利用され、乳酸の生成を抑制し、持久力を高める。 腎機能障害の人は禁忌。
シトルリン（Cit）		肌の天然保湿因子（NMF）でセリンに次いで多いアミノ酸。
リジン（Lys）		小麦粉や精白米に不足しがちなアミノ酸であり、アミノ酸バランス改善に利用。
フェニルアラニン（Phe）		肝障害によい。 アルカプトン尿症、フェニルケトン尿症、チロシン血症、チロシン尿症の人は禁忌。
チロシン（Tyr）		フェニルケトン尿症に有効。 集中力を高めるといわれ、睡眠不足後の覚醒改善に有効性が示唆される。 甲状腺機能亢進症の人は注意を要する。
トリプトファン（Trp）		精神を安定させる、鎮静作用がある。 通常の食事に含まれる量以上の摂取は危険。好酸球増多筋痛症候群を引き起こした事例あり。
プロリン（Pro）		皮膚に潤いをもたらす天然保湿因子（NMF）の一つ。 即効性のエネルギー源としても利用される。

最近、ジペプチドが注目されているが、大豆蛋白質を分解して作った大豆ペプチド、乳酸菌から得られるラクトトリペプチドなどが商品化されている。また、コラーゲンやラクトフェリンなどのように蛋白質そのもののサプリメントも市販されているが、本稿ではこれらについては割愛

した。

現時点ではサプリメントは医薬品のような厳しい基準や適正使用などが求められていない。また、医薬品とサプリメントの相互作用なども問題視されている。それだけに、あくまでも自己責任において上手な摂り方をしなければならない。その観点からも、サプリメント商品に表示されている成分の内容やその量を確認することが望まれる。本稿はその一助となれば幸いである。

参考文献：

味の素株式会社：アミノ酸ハンドブック、工業調査会、2003
大谷勝：アミノ酸エビデンス 255、現代書林、2003
櫻庭雅文：アミノ酸の科学　その効果を検証する、講談社、2004
治療 Vol.87、No.10（2005）の特集“プライマリ・ケア医のためのサプリメントの知識”
成人病と生活習慣病 Vol.35、No.9（2005）の特集“生活習慣病におけるサプリメント”
大西憲明、*Biotherapy*　Vol.19、No.3（2005）、p213-219
独立行政法人　国立健康・栄養研究所「健康食品」の素材情報データベース
＜http://hfnet.nih.go.jp/contents/indiv.html＞
協和発酵ホームページ、アミノ酸講座＜http://www.kyowa.co.jp/health/amino/index.htm＞
味の素株式会社ホームページ、アミノ酸大百科
＜http://www.ajinomoto.co.jp/amino/index.html??top3=aminoIndex2＞

（JAPIC NEWS 編集委員会　荒井裕美子、松本和男）

お 知 ら せ

◆『JAPIC 日本の医薬品 構造式集 2006』（検索 CD-ROM 付き）発刊

『JAPIC 日本の医薬品 構造式集 2006』を 3 月中旬に発行いたします。本書につきましては、会員サービスの一環として各会員の業務担当者宛てにお送りいたします。

医薬品にとって構造式はきわめて多くの情報を内蔵しその本質を示す真髄です。構造式には、医薬品の安定性、融解性などの化学的特性が含まれ、薬効や薬理が示唆され、容易に類似化合物の類推ができ、製造や合成の難易度までもわかります。このような重要な情報を含む構造式を調べようとすると案外手間がかかります。本書は薬剤師、研究者、薬系大学生などの皆様にとっては非常に有用な資料であると考えます。

また付録の簡易検索 CD-ROM は利便性の高いものとしておかげさまでご好評をいただいております。詳細は次のとおりです。

【内 容】国内で販売されている医療用医薬品のうち、一部の高分子製剤、低分子製剤などを除く約 1,300 成分の構造式を収載。各成分には構造式のほか、一般名・化学名・薬効分類・適応・CAS Registry number・分子量・分子式を記載。

【索 引】五十音（和文）とアルファベットの 2 種類。
五十音索引では製品名による検索が可能。

【CD-ROM】より詳細な情報を収載した検索 CD-ROM を付録として添付。複数の薬剤の構造式を同時に 1 画面に表示することができ、同一薬効群や類似作用をもつ医薬品などの構造式の違いを比較検証することが可能。

【価 格】 2,940 円（税込み） B5 版 190 ページ

「JAPIC 日本の医薬品 構造式集 2006」申込書

申込部数	部	申込日	２００６年　　月　　日
お届先 ご住所	〒 TEL		
お名前			
通信欄			

お申込ＦＡＸ　０３－５４６６－１８１４

◆新薬承認審査報告書集「日本の新薬」発刊のご案内

新薬承認審査報告書の集大成版である**「日本の新薬」**を発刊する運びとなりました。

本書は旧国立医薬品食品衛生研究所医薬品医療機器審査センターおよび独立行政法人医薬品医療機器総合機構で行われた新医薬品の承認審査の報告書（以下審査報告書）の、平成 10 年 1 月承認分～平成 18 年 1 月公表分をすべて収録し薬効別に編集し直したものです。

薬効別に編集してあるため、各薬効ごとに審査報告書の内容を確認することができます。

さらに訂正のある報告書については本文中に修正前と修正後がわかるように編集してありますので訂正表とその都度見比べる必要もありません。

総数は述べ 337 品目で新成分，効能追加，新用量，新剤形などすべての申請内容を含みます。

本書の構成

本文は薬効別に 20 巻に分かれ（薬効は日本標準商品分類の医薬品の項、87 省略し、以下 3 ケタを使用）、同一薬効内は販売名の五十音順に配列してあります。

索引はその巻に収載されている医薬品名の五十音順索引を前部に、20 巻全体の総合索引が巻末についています。各医薬品ごとの開始ページとしては審査報告書の「販売名」「一般名」「申請者」「申請年月日」「剤形・含量」などの記載ページをあて、見出しとしてページ上部に「販売名」と「承認年月」を記載しています。

本文の内容は原則として審査報告書どおりですが、審査報告書本体の伏せ字の部分は一律「□□□」で置き換えてあります。また、訂正表が出たものについては訂正前と後を本文に反映させるなど読みやすさに工夫を加えました。構造式は JAPIC 作成・発行の「日本の医薬品構造式集」記載の構造式を使用しています。

本書は、全 20 巻、総ページ数約 11,000 ページの大型図書であり、今回部数限定で作成いたします。製薬企業ユーザーの新薬承認申請の際の参考資料として、大学の医薬品情報およびレギュラトリーサイエンス教育用の教材・資料としてご利用いただけるものと自負しております。

ぜひこの機会にご購入いただきますようご案内申し上げます。

会員割引有り

定 価　**全 20 巻**　　**平成18年4月　発刊予定**

セット価格（20 巻）：220,000 円（税，送料別）

巻単位（薬効群）単位でのご購入も可能です。

各巻　22,000 円（税，送料別）

さらにキャンペーン価格として

★ 平成 18 年 3 月 17 日までにお申し込みいただきますと1割引

★ JAPIC 会員ユーザーにはさらに1割引の価格でご提供申し上げます。

※ お問い合せ・資料のご請求、ご注文は：

問い合せ先：事業部門 医薬文献情報担当　上原 恵子　（TEL.03-5466-1822／FAX. 03-5466-1816）

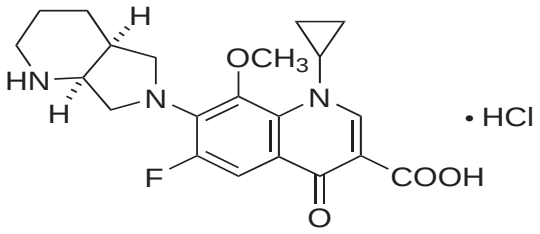
資料の請求、ご注文：事務局 業務渉外担当　（TEL.03-5466-1812／FAX. 03-5466-1814）

【日本の新薬　本文見本１】

アベロックス錠 400mg

平成 17 年 10 月承認

［販売名］　アベロックス錠 400mg
［一般名］　塩酸モキシフロキサシン
［申請者］　バイエル薬品株式会社
［申請年月日］　平成 14 年 9 月 30 日
［剤型・含量］　1 錠中にモキシフロキサシン 400mg を含有するフィルムコーティング錠
［申請区分］　医療用医薬品(1)新有効成分含有医薬品
［化学構造］
構造式



［分子式］　$C_{21}H_{24}FN_3O_4$・HCl
［分子量］　437.89
［化学名］
日本名　1-シクロプロピル-6-フルオロ-8-メトキシ-7-[(4aS, 7aS)-オクタヒドロピロロ[3, 4-b]ピリジン-6-イル]-4-オキソ-1, 4-ジヒドロキノリン-3-カルボン酸一塩酸塩

英名　1-Cyclopropyl-6-fluoro-8-methoxy-7-[(4aS, 7aS)-octahydropyrrolo[3, 4-b]pyridine-6-yl]-4-oxo-1, 4-dihydroquinoline-3-carboxylic acid monohydrochloride

［特記事項］　なし
［審査担当部］　新薬審査第一部

・
・

【日本の新薬　本文見本２】

審査報告（1）

平成 17 年 2 月 15 日作成

品目の概要

［販売名］　マイロターグ注射用 5mg

［一般名］　ゲムツズマブオゾガマイシン（遺伝子組換え）

［申請者］　日本ワイスレダリー株式会社（現　ワイス株式会社）

［申請年月日］　平成 15 年 6 月 26 日

［剤型・含量］　注射剤・1 バイアル中ゲムツズマブオゾガマイシン（遺伝子組換え）を 5mg 含有する

［申請時の効能・効果］　CD33 陽性の再発又は難治急性骨髄性白血病

2. 提出された資料の概略及び審査の概略

本申請において、申請者が提出した資料及び国立医薬品食品衛生研究所医薬品医療機器審査センター、若しくは医薬品医療機器総合機構からの照会事項に対する申請者の回答の概略は、下記のようなものであった。　……

イ. 起原又は発見の経緯及び外国における使用状況等に関する資料

急性骨髄性白血病（Acute Myeloid Leukemia；AML）は、未熟な骨髄球系の細胞がクローン性に増殖した疾患である。急性骨髄性白血病は FAB 分類（French-American-British criteria）に基づいて M0 から M7 に分類される。　……

ゲムツズマブオゾガマイシン（遺伝子組換え）（以下、本薬）は、γ-カリケアマイシンの誘導体である *N*-アセチル-γ-カリケアマイシンと遺伝子組換えヒト化抗 CD33 モノクローナル抗体（米国□□□にて構築されたマウス抗 CD33 モノクローナル抗体 mP67.6 を英国□□□社(現□□□社)が遺伝子組換え技術を用いてヒト化した IgG_4 抗体）をリンカー（□□□及び□□□）を介して化学的に結合させた、CD33 抗原陽性 AML に対する新規の抗悪性腫瘍剤である。19□□□年□□□月より米国において CD33 抗原陽性の再発又は難治 AML 患者を対象に本薬の第 I 相試験が実施され、その後 19□□□年から 19□□□年にかけて北米及び欧州で CD33 抗原陽性の初回再発 AML 患者を対象とした三つの第 II 相試験が開始された。……

新薬承認審査報告書集「日本の新薬」 各巻の収録薬効群一覧

巻	薬効	薬効名
1巻	111	全身麻酔剤
	112	催眠鎮静剤，抗不安剤
	113	抗てんかん剤
	114	解熱鎮痛消炎剤
	116	抗パーキンソン剤
	117	精神神経用剤
	119	その他の中枢神経系用薬
2巻	121	局所麻酔剤
	122	骨格筋弛緩剤
	124	鎮痙剤
	131	眼科用剤
	132	耳鼻科用剤
	190	その他の神経系及び感覚器官用医薬品
3巻	211	強心剤
	212	不整脈用剤
	213	利尿剤
	214	血圧下降剤
4巻	216	血管収縮剤
	217	血管拡張剤
	218	高脂血症剤
5巻	219	その他の循環器官用薬
	223	去たん剤
	225	気管支拡張剤
	229	その他の呼吸器官用薬
6巻	232	消化性潰瘍用剤
	236	利胆剤
	239	その他の消化器官用薬
7巻	241	脳下垂体ホルモン剤
	247	卵胞および黄体ホルモン剤
7巻	249	その他のホルモン剤
8巻	254	避妊剤
	255	痔疾用剤
	259	その他の泌尿生殖器官及び肛門用薬
	263	化膿性疾患用剤・外用
	264	鎮痛鎮痒収斂消炎剤・外用
	265	寄生性皮膚疾患用剤
	269	その他の外皮用薬
9巻	311	ビタミンAおよびD剤
	333	血液凝固阻止剤
	339	その他の血液・体液用薬

巻	薬効	薬効名
9巻 続き	341	人工腎臓透析用剤
	342	腹膜透析用剤
10巻	391	肝臓疾患用剤
	392	解毒剤
	395	習慣性中毒用剤
	396	糖尿病用剤
11巻	399	代謝性医薬品（免疫抑制剤，抗リウマチ薬他）
12巻	421	アルキル化剤
	422	代謝拮抗剤
	423	抗腫瘍性抗生物質製剤
	424	抗腫瘍性植物成分製剤
13巻	429	上記以外の腫瘍用薬（プラチナ製剤，分子標的治療剤他）
14巻	429	上記以外の腫瘍用薬（プラチナ製剤，分子標的治療剤他）
	430	放射性医薬品
15巻	449	アレルギー用薬
	611	主としてグラム陽性菌…ペニシリン系抗生物質
16巻	613	主としてグラム陽性菌・陰性菌…合成ペニシリン系，セフェム系抗生物質
	614	主としてグラム陽性菌マイコプラズマ…マクロライド系抗生物質
	617	主としてカビに作用するもの
17巻	624	合成抗菌剤
	625	抗ウイルス剤
18巻	625	抗ウイルス剤
	629	他の化学療法剤
19巻	631	ワクチン類
	634	血液製剤類
	636	混合生物学的製剤
	639	他の生物学的製剤
20巻	641	抗原虫剤
	642	駆虫剤
	721	X線造影剤
	722	機能検査用試薬
	729	その他の診断用薬
	732	防疫用殺菌消毒剤
	799	他に分類されない医薬品
	811	あへんアルカロイド系麻薬
	821	合成麻薬

トピックス

◆第 124 回薬事研究会を終えて

JAPIC 薬事研究会が、平成 18 年 2 月 8 日にニッショーホールにて開催されました。「東南アジアにおける国際治験の環境と現状」について武藤博氏（クインタイルズ・トランスナショナル・ジャパン株式会社　グローバル・エクスポート・ジャパン　シニアディレクター）は、アジアにおけるグローバル臨床開発事例と経験を踏まえてグローバル臨床開発プログラムへのアジアの活用、グローバル臨床開発へアジアが提供する機会、日本での臨床開発プログラムへアジアを活用できる可能性について話されました。

「アジア地域を含めた国際共同治験」について、森和彦氏（独立行政法人　医薬品医療機器総合機構　新薬審査第一部長）は、アジアでの治験を含めた国際共同治験について、審査・治験相談に係わる立場から、今日の臨床開発の抱える課題、日本の臨床開発の変化、アジアでの治験の積極的活用に向けての話がありました。

森氏は、講演の最後に「私達が目指すのは、①世界中で開発される新しい医薬品、医療機器ができる限り早期に世界中の患者さんに利用できるようにすること。②開発から市販まで次々に遭遇する未知のリスクの早期発見、迅速な対処により、患者さんが受ける被害を最小限に止めること。③無駄の少ない効率的な開発、安全対策の開発を応援し、医療分野でのイノベーションの発展を促進すること。」とまとめられました。

薬事研究会は JAPIC と製薬企業会員との自主的な活動として長年続いてきたものであり、講演テーマは薬事研究会幹事会（幹事長 辻敏勝氏 日本化薬(株)医薬事業本部薬制部長、副幹事長 内藤浩志氏 メルク(株)薬事担当マネージャー）において決められています。

薬事法の目的にも、医薬品等有効性・安全性・品質の規制及び研究開発促進が謳われています。また、医療法・健康保険法など薬事関連分野での法制度が大きく変革する中で、薬事研究会のテーマも広がりを持ってきています。今回のテーマでは、300 名以上の方々に参加いただきました。今後とも、製薬企業会員の方に興味深い薬事関連テーマを選んで行きたいと考えています。なお、今回の薬事研究会の詳細な講演内容は、次号のジャピックジャーナルに掲載する予定です。

（薬事研究会担当　Y.N 記）

図書館だより No.189

≺新着資料案内 －平成 18 年 1 月 13 日～平成 18 年 2 月 10 日受け入れ≻

この情報は JAPIC ホームページ<http://www.japic.or.jp>でもご覧頂けます。
お問い合わせは図書館までお願いします。複写をご希望の方は所定の申込用紙でお申し込み下さい。
電話番号 03-5466-1827　Fax No. 03-5466-1818

〈 配列は書名のアルファベット順 〉

書名 著者名	出版社名	出版年月	ﾍﾟｰｼﾞ	定価
治療薬マニュアル 2006				
高久 史麿、矢崎 義雄 監修	医学書院	2006年 2月	2,306p	¥5,250
デジタル環境下におけるILL、ドキュメント・デリバリーとその運用基盤				
国立国会図書館関西館事業部図書館協力課 編	日本図書館協会	2005年 11月	213p	¥2,100
EBMの手法による肺癌診療ガイドライン 2005年版				
日本肺癌学会 編	金原出版	2005年 11月	211p	¥3,150
European pharmacopoeia 5th edition Supplement 5.5				
Council of Europe	Council of Europe	2005年 12月	273p	¥17,770
『EP』の追補5				
エビデンスに基づく最新リウマチ薬物療法				
森 俊輔 著	金原出版	2005年 11月	167p	¥4,515
GVPハンドブック 製造販売後の安全管理基準（解説編）				
エルゼビア・ジャパン 編	エルゼビア・ジャパン	2005年 12月	225p	¥2,940
Handbook of Pharmaceutical Excipients 5th ed.				
Raymond C Rowe et al(ed)	Pharmaceutical Press(GBR)	2006年	940p	¥51,474
アメリカ薬剤師会の編集による「医薬品添加物事典」で300品目の添加物モノグラフを収載				
一般用医薬品の承認申請区分及び添付資料に関する質疑応答集(Q&A)について				
厚生労働省医薬食品局審査管理課	厚生労働省医薬食品局	2005年 12月	13p	
医療用医薬品等の承認申請等に関する質疑応答集(Q&A)について				
厚生労働省医薬食品局審査管理課	厚生労働省医薬食品局	2005年 12月	10p	

書名 著者名	出版社名	出版年月	ﾍﾟｰｼﾞ	定価
医薬品のGMP 第2改訂版				
大阪医薬品協会GMP委員会教育部会編	大阪医薬品協会	2005年 7月	90p	¥3,350
医薬品製造に関するハード・ソフト技術用語辞典				
製剤機械技術研究会技術用語編集委員会 編	製剤機械技術研究会	2005年 10月	278p	
循環器病の薬物療法				
斎藤 宗靖 編	メジカルビュー社	2006年 1月	366p	¥9,975
基本医療六法 平成18年版				
基本医療六法編纂委員会 編	中央法規出版	2005年 12月	1,804p	¥3,780
今日の治療指針 2006年版(Volume 48) 私はこう治療している				
山口 徹 他総編集	医学書院	2006年 1月	1,784p	¥19,950
厚生労働科学研究費補助金 こころの健康科学研究事業 慢性頭痛の診療ガイドライン作成に関する研究 平成14年度～16年度総合研究報告書				
主任研究者 坂井 文彦 編		2005年 3月	102p	
厚生労働科学研究費補助金 こころの健康科学研究事業 慢性頭痛の診療ガイドライン作成に関する研究 平成16年度総括･分担研究報告書				
主任研究者 坂井 文彦 編		2005年 3月	105p	
メディクイックブック 第1部 患者さんによくわかる薬の説明 2006年版				
鈴木 康夫 編	金原出版	2006年 1月	7.4p	¥5,040
メディクイックブック 第2部 患者さんによくわかる生活指導と薬･検査･手術の説明 改訂第3版				
鈴木 康夫 他編	金原出版	2006年 1月	363p	¥4,725
ネルソン小児科学 原著第17版				
五十嵐 隆 他編	エルゼビア・ジャパン	2005年 11月	2,677p	¥29,800
認知症の薬物治療 アリセプトの使いこなしと介護を助ける処方				
河野 和彦 著	フジメディカル出版	2006年 1月	113p	¥2,625
レセプト事務のための薬効・薬価リスト 平成17年版				
医薬情報研究所 編	じほう	2005年 4月	849p	¥6,825
三訂版 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律 －法令・通知・関係資料－				
感染症法研究会 監修	中央法規出版	2005年 12月	635p	¥4,410

書名 著者名	出版社名	出版年月	ﾍﾟｰｼﾞ	定価
整形外科医が知っておきたい統計学				
小柳 貴裕 著	医学書院	2006年 1月	91p	
疾患･医薬品から引ける適応外使用論文検索ガイド 第2集 精神疾患編				
藤原 豊博 著	じほう	2005年 3月	217p	¥2,520
新薬承認情報集 平成16年 No.19 塩酸プラルモレリン[注射用GHRP科研 100]				
日本薬剤師研究センター 編	日本薬剤師研修センター	2006年 1月	324p	
USP DI 2005				
Thomson Micromedex	Thomson Micromedex	2005年	3分冊	¥40,078
USP収載品を中心とした医薬品情報で承認適応の外off-Label適応についても記載がある				
薬剤識別コード事典 平成18年改訂版				
医薬ジャーナル社編集部 編	医薬ジャーナル社	2006年 2月	476p	¥5,040

◆ JAPIC 附属図書館の「蔵書検索」の公開と
冊子『JAPIC CONTENTS』廃止のお知らせ!!

昨年 11 月下旬から、ホームページ（http://www.japic.or.jp）上で、附属図書館の「蔵書検索」を公開しております。

これに伴い、『JAPIC CONTENTS』は今年度（平成 18 年 3 月末）をもって廃刊になります。長い間、ご購読ありがとうございました。

２月の情報提供一覧

・平成 18 年 2 月 1 日から 2 月 28 日の期間に提供しました情報は次の通りです。
・出版物がお手許に届いていない場合、宛先変更の場合は
当センター事務局業務・渉外担当（TEL.03-5466-1812）までお知らせ下さい。

情　報　提　供　一　覧	発行日等
<出 版 物 等>	
1.「医薬関連情報」2 月号	2 月 24 日
2.「Regulations View」No.126	2 月 24 日
3.「JAPIC CONTENTS」No.1694～1697	毎週月曜日
4.「JAPIC NEWS」No.263	2 月 24 日
5. JAPIC「医療用医薬品集」更新情報 2006 年 2 月版	2 月 28 日
<速報サービス>	
1.「医薬関連情報　速報 FAX サービス」No.521－524	毎　　週
2.「医薬文献・学会情報速報サービス（JAPIC-Q サービス)」	毎　　週
3.「JAPIC-Q Plus サービス」	毎月第一水曜日
4.「外国政府等の医薬品・医療用具の安全性に関する措置情報サービス（JAPIC Daily Mail)」No.1151－1170	毎　　日
5.「感染症情報（JAPIC Daily Mail Plus)」No.127－130	毎週月曜日
6.「PubMed 代行検索サービス」	毎月第一水曜日

データベース一覧	更新日
iyakuSearch　<http://database.japic.or.jp/>	
1．医薬文献情報	2月 1日
2．学会演題情報	2月 1日
3．医療用医薬品添付文書情報	2月 11日 2月 25日
4．一般用医薬品添付文書情報	1月 30日
5．規制措置情報	毎　　日
6．臨床試験情報	随　　時
<JIP　e-InfoStream から提供> ※メンテナンス状況は JIP ホームページ（https://e-infostream.com/）でもご覧いただけます。	
1．「JAPICDOC 速報版（日本医薬文献抄録速報版）」	2月 3日
2．「JAPICDOC（日本医薬文献抄録）」	2月 3日
3．「ADVISE（医薬品副作用文献情報）」	2月 3日
4．「MMPLAN（学会開催予定）」	2月 13日
5．「SOCIE（医薬関連学会演題情報）」	2月 3日
6．「NewPINS（添付文書情報）」（月２回更新）	1月 30日 2月 13日
7．「SHOUNIN（承認品目情報）」	2月 8日
〈JST　JOIS から提供〉	
「JAPICDOC（日本医薬文献抄録）」	2月中旬

当センターが提供する情報を使用する場合は、著作権の問題がありますので、その都度事前に当センター事務局業務・渉外担当（TEL.03-5466-1812）を通じて許諾を得て下さい。

「添付文書記載病名集」および JAPIC「医療用医薬品集」2006 発売!!

「添付文書記載病名集」 ―刊行記念―

全1,300ページ

ただいま キャンペーン中

・添付文書に記載の「効能・効果」と「標準病名およびICD10コード」が対応。
・医療用の内服薬、注射薬および外用薬（漢方薬は含まれていません）について適正使用の観点から、最小限の内容に絞ったまとめ。
・医療活動の他に医事の業務にも有用。

JAPIC「医療用医薬品集」2006

・国内で使用される医療用医薬品添付文書情報を収載。
・本書データを収載した便利なCD-ROM付。
・薬剤識別コード一覧付。
・更新情報（新薬・改訂）の提供。（別売）

キャンペーン　その1

「添付文書記載病名集」が
特別価格でご購入頂けます!!

定価　7,000円(税込)
→ **刊行記念特価：5,000円(税込)**
(冊子あるいはCD-ROM)

キャンペーン　その2

「医療用医薬品集」2006
(価格14,700円(税込))をお買い求め頂くと

→「添付文書記載病名集」を贈呈!!

購入申込書（FAXでお送りください）**キャンペーン期間**（平成17年12月～平成18年3月末） News

申込先：（財）日本医薬情報センター　FAX：03-5466-1814

丸善㈱へ申込の場合　FAX：03-3272-0693

ご指定書店名　　書店（　　市区町村）　☆書店のご指定のない場合は発売元の丸善より書店を指定させていただきます。

ご購入タイプ	特別価格	申込部数
「添付文書記載病名集」書籍 ISBN4-9902358-6-X	5,000円(税込)	冊
「添付文書記載病名集」CD-ROM ※対応OS：Windows95SE/Me/NT4.0/2000/XP ISBN4-9902358-7-8	5,000円(税込)	冊
「医療用医薬品集」2006＋「添付文書記載病名集」書籍を贈呈 ISBN4-9902358-1-9	14,700円(税込)	冊
「医療用医薬品集」2006＋「添付文書記載病名集」CD-ROMを贈呈 ISBN4-9902358-1-9	14,700円(税込)	冊

お届け先ご住所	〒				
所属機関		氏名		TEL	

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝ 財団法人 日本医薬情報センター（JAPIC）
（http://www.japic.or.jp/）
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 2-12-15
長井記念館 3 階
TEL 03(5466)1811　FAX 03(5466)1814
e-mail：gyoumu@qb3.so-net.ne.jp

〈禁無断転載〉

JAPIC NEWS 2006 年 3 月号
2006.2.24 発行（No.263）
(1984.4.27　No.1 発行)